

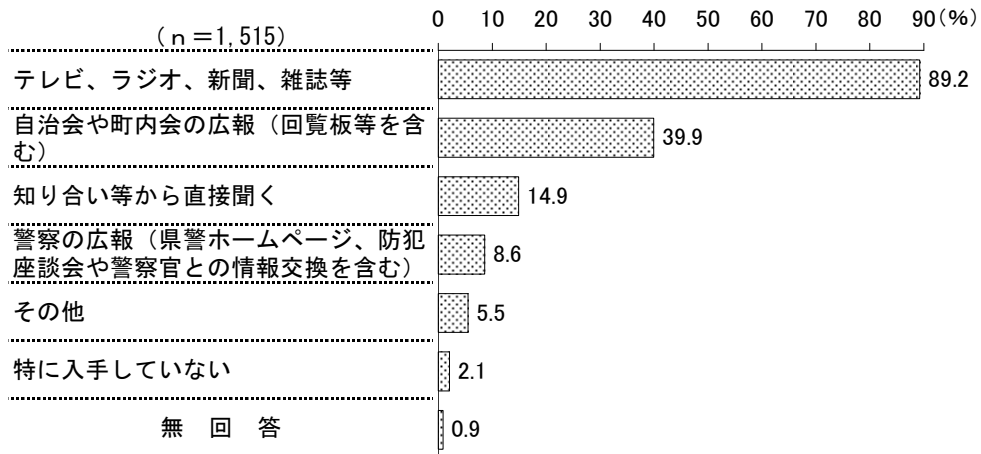
3 【犯罪のない安全で安心なまちづくりについて】

(1) 犯罪や防犯に関する情報の入手方法

◇「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が約9割

問16 あなたは、犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手していますか。(○は2つまで)

<図表16-1> 犯罪や防犯に関する情報の入手方法



犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手しているか聞いたところ、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」(89.2%)が約9割で最も多くなっており、以下、「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」(39.9%)、「知り合い等から直接聞く」(14.9%)などが続く。(図表16-1)

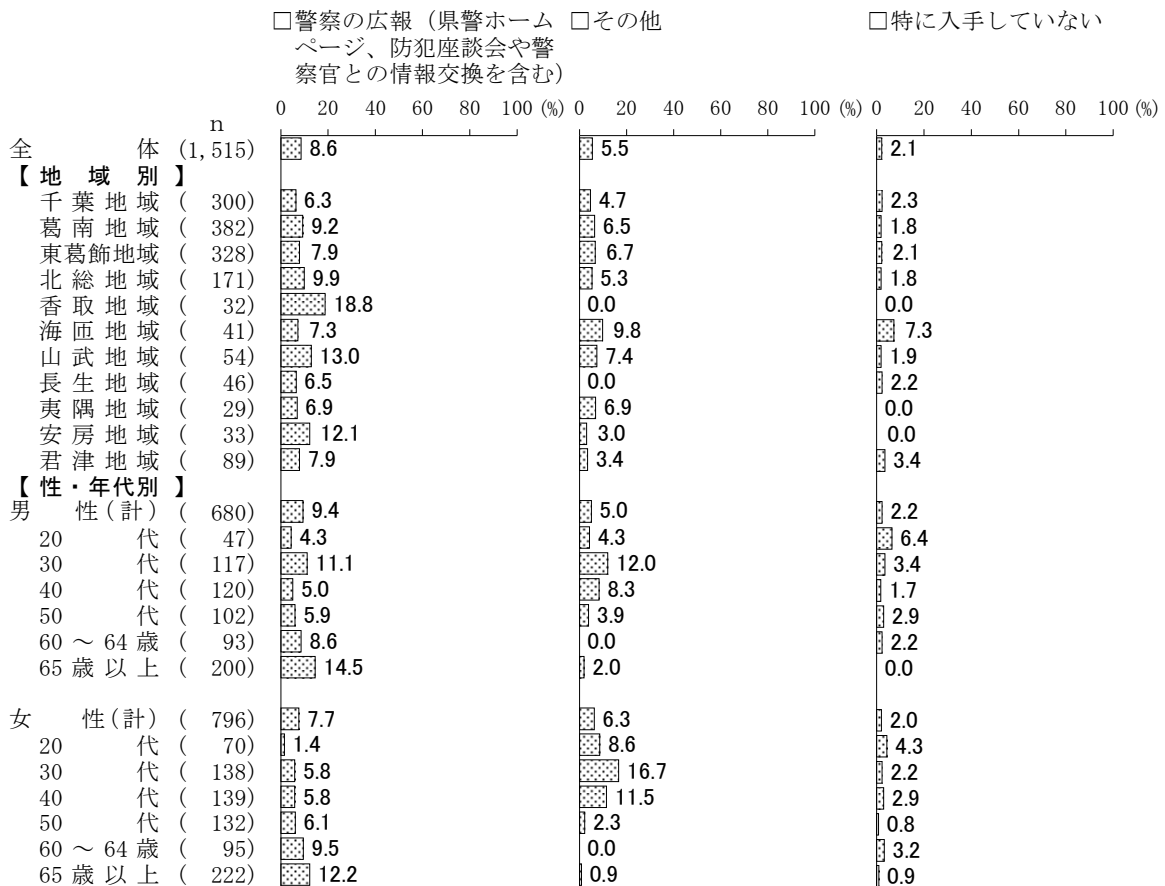
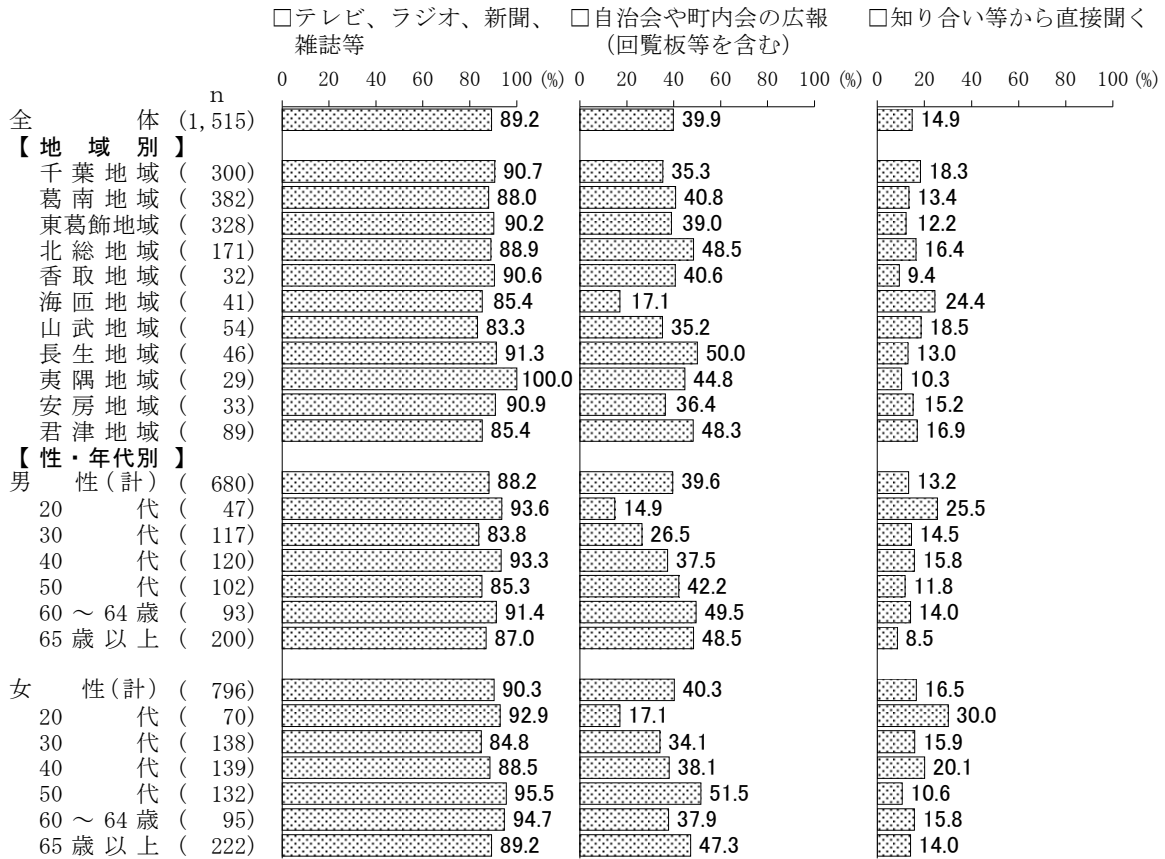
【地域別】

地域別にみると、「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」は“長生地域”（50.0%），“北総地域”（48.5%），“君津地域”（48.3%）がいずれも5割前後となっている。「知り合い等から直接聞く」は“海匝地域”（24.4%）が2割台半ばとなっている。「警察の広報（県警ホームページ、防犯座談会や警察官との情報交換を含む）」は“香取地域”（18.8%）が約2割となっている。(図表16-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」は男性60～64歳（49.5%）・65歳以上（48.5%）と女性50代（51.5%）、女性65歳以上（47.3%）がいずれも5割前後となっている。「知り合い等から直接聞く」は男女とも20代（男性25.5%、女性30.0%）が他の年代に比べて最も割合が多くなっている。(図表16-2)

<図表16-2> 犯罪や防犯に関する情報の入手方法／地域別、性・年代別

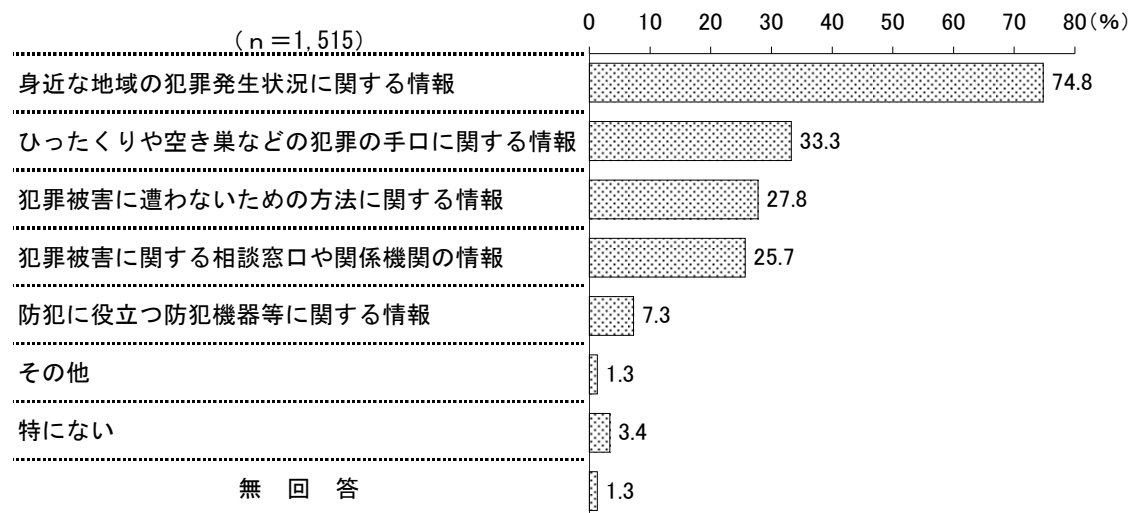


(2) 犯罪情報等で提供してほしいもの

◇「身近な地域犯罪発生状況に関する情報」が7割台半ば

問17 あなたが提供してほしい犯罪情報等は何ですか。(〇は2つまで)

<図表17-1> 犯罪情報等で提供してほしいもの



犯罪情報等で提供してほしいものは何か聞いたところ、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」(74.8%)が7割台半ばで最も多くなっており、以下、「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」(33.3%)、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」(27.8%)、「犯罪被害に関する相談窓口や関係機関の情報」(25.7%)などが続く。(図表17-1)

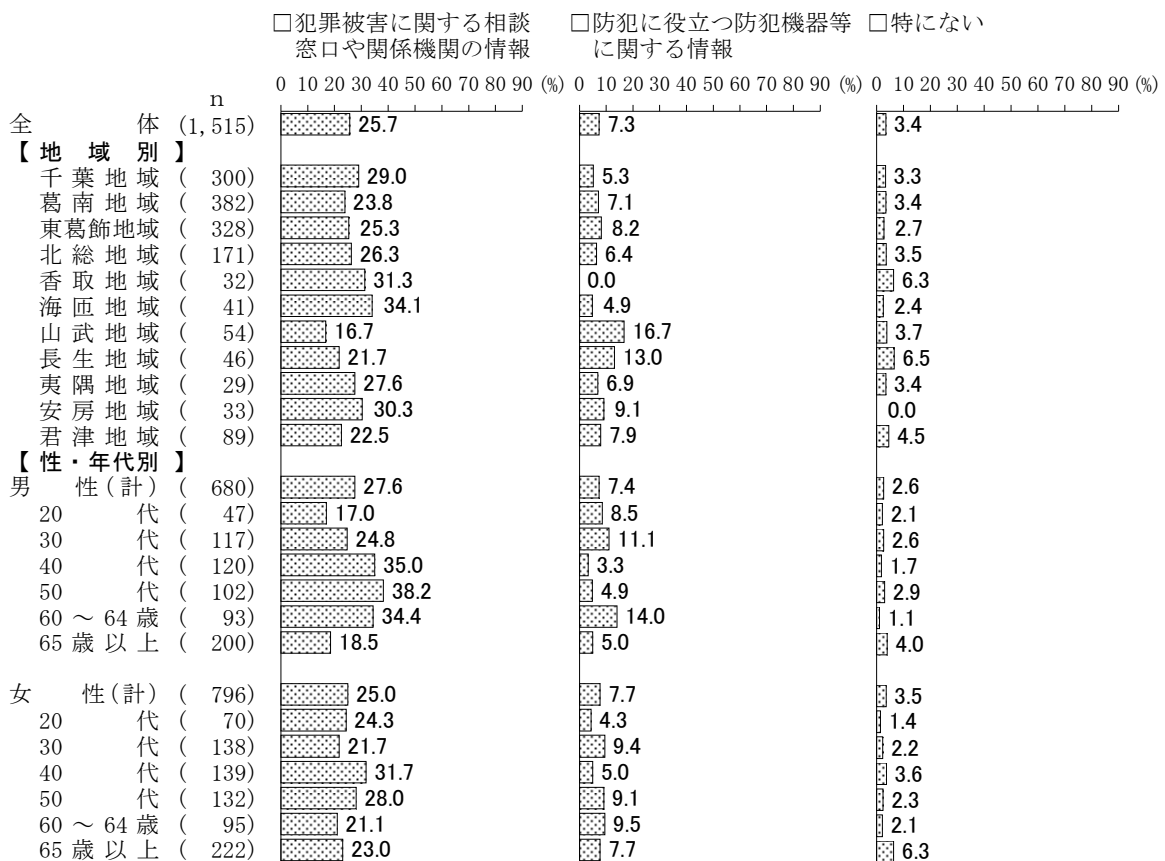
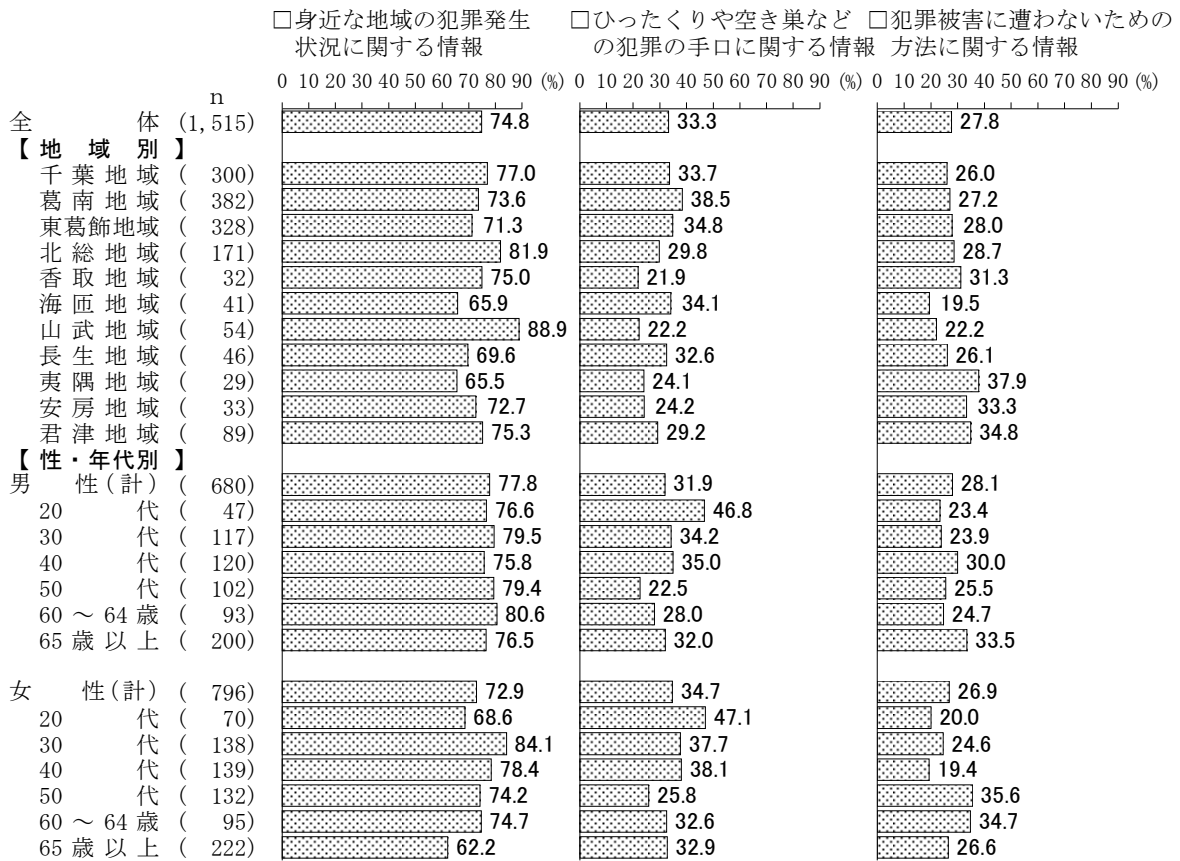
【地域別】

地域別にみると、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」は“山武地域”(88.9%)が約9割で多くなっている。「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」は“夷隅地域”(37.9%)が約4割と多く、「犯罪被害に関する相談窓口や関係機関の情報」は“海匝地域”(34.1%)が3割台半ばと多くなっている。(図表17-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」は男女とも20代(男性46.8%、女性47.1%)が他の年代と比べて割合が最も多くなっている。「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」は女性50代(35.6%)・60~64歳(34.7%)、男性65歳以上(33.5%)が3割台半ばと多く、「犯罪被害に関する相談窓口や関係機関の情報」は男性50代(38.2%)が約4割と多くなっている。(図表17-2)

<図表17-2> 犯罪情報等で提供してほしいもの／地域別、性・年代別（上位6項目）

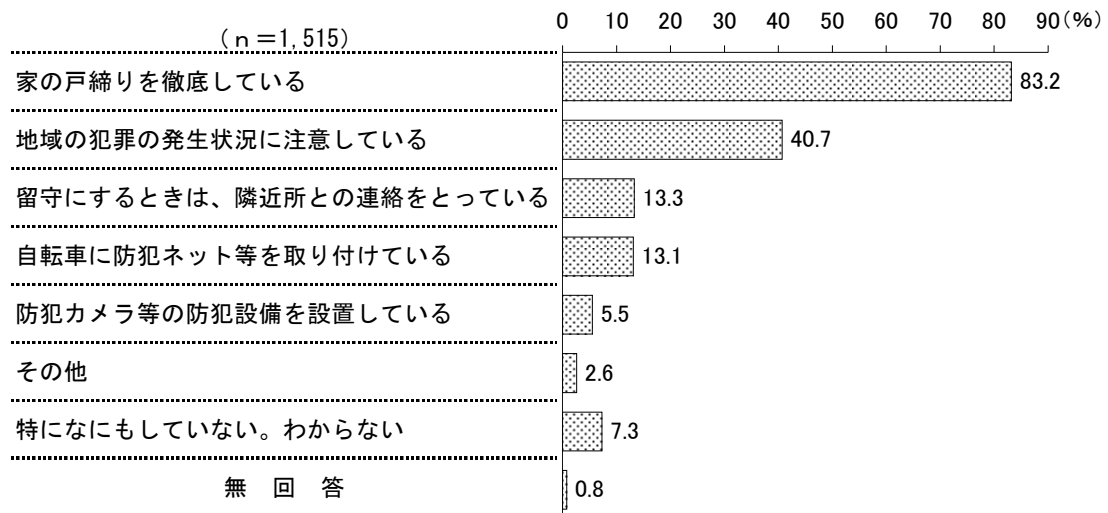


(3) 犯罪に遭わないために心がけていること

◇「家の戸締りを徹底している」が8割台半ば

問18 あなたは今、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけていますか。(〇はいくつでも)

<図表18-1> 犯罪に遭わないために心がけていること



現在、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけているか聞いたところ、「家の戸締りを徹底している」(83.2%)が8割台半ばで最も多くなっており、以下、「地域の犯罪の発生状況に注意している」(40.7%)、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」(13.3%)、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」(13.1%)などが続く。(図表18-1)

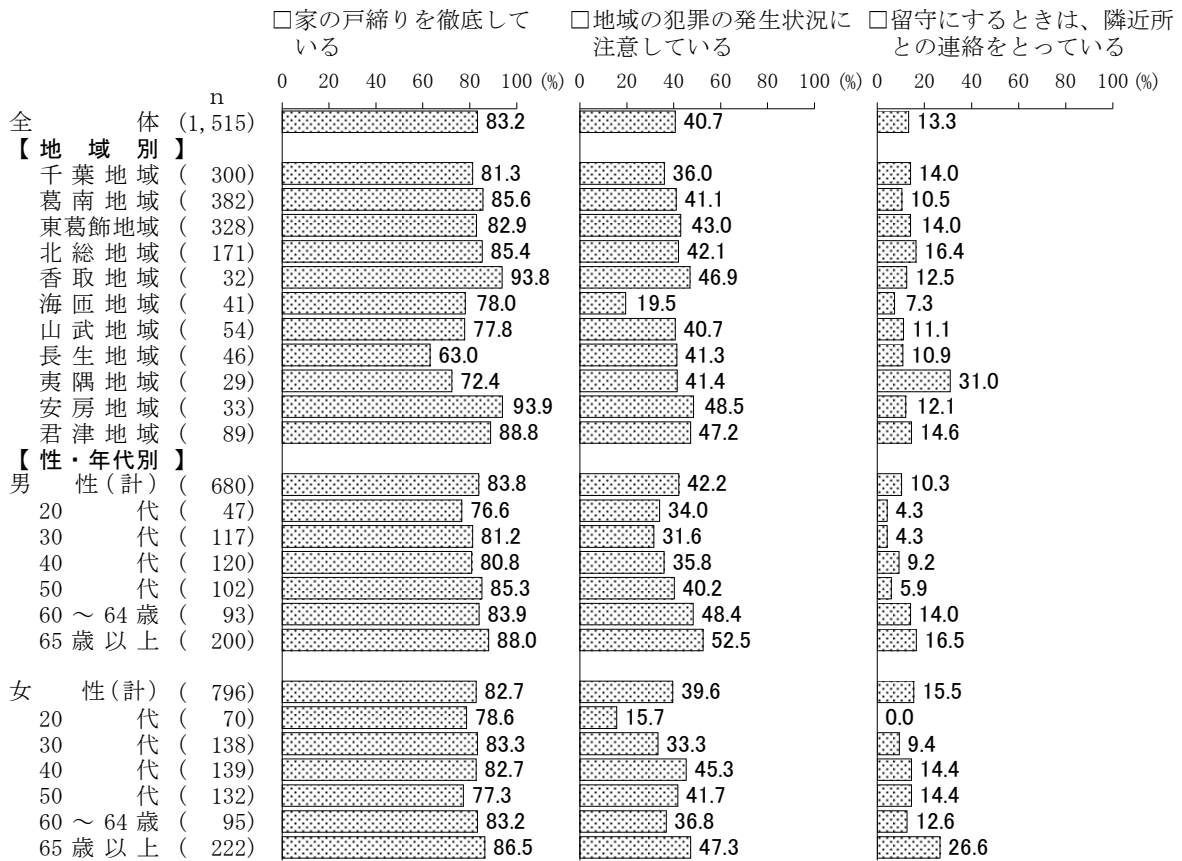
【地域別】

地域別にみると、「家の戸締りを徹底している」は“安房地域”(93.9%)と“香取地域”(93.8%)がともに9割台半ばで多くなっている。「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」は“夷隅地域”(31.0%)が3割を超えて多く、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」は“葛南地域”(18.1%)と“東葛飾地域”(18.0%)がともに約2割となっている。(図表18-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地域の犯罪の発生状況に注意している」は男性60～64歳(48.4%)・65歳以上(52.5%)がともに5割前後と多くなっている。「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」は女性65歳以上(26.6%)が2割台半ばで多く、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」は女性60～64歳(23.2%)・65歳以上(24.3%)でともに2割台半ばとなっている。(図表18-2)

<図表18-2> 犯罪に遭わないために心がけていること／地域別、性・年代別（上位6項目）

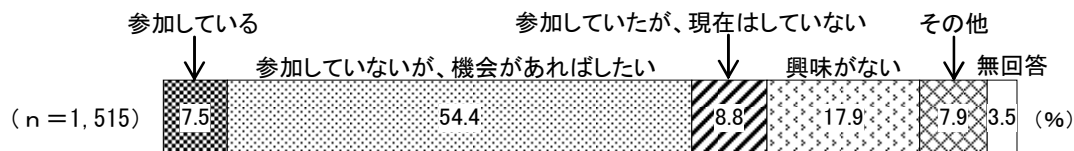


(4) 自主防犯活動等への参加状況

◇「参加していないが、機会があればしたい」が5割台半ば

問19 あなたは、自主防犯活動等に参加していますか。(○は1つ)

<図表19-1> 自主防犯活動等への参加状況



自主防犯活動等に参加しているか聞いたところ、「参加している」(7.5%)は1割近くで、「参加していないが、機会があればしたい」(54.4%)が5割台半ばで最も多くなっている。「参加していたが、現在はしていない」(8.8%)は約1割で、「興味がない」(17.9%)は約2割となっている。

(図表19-1)

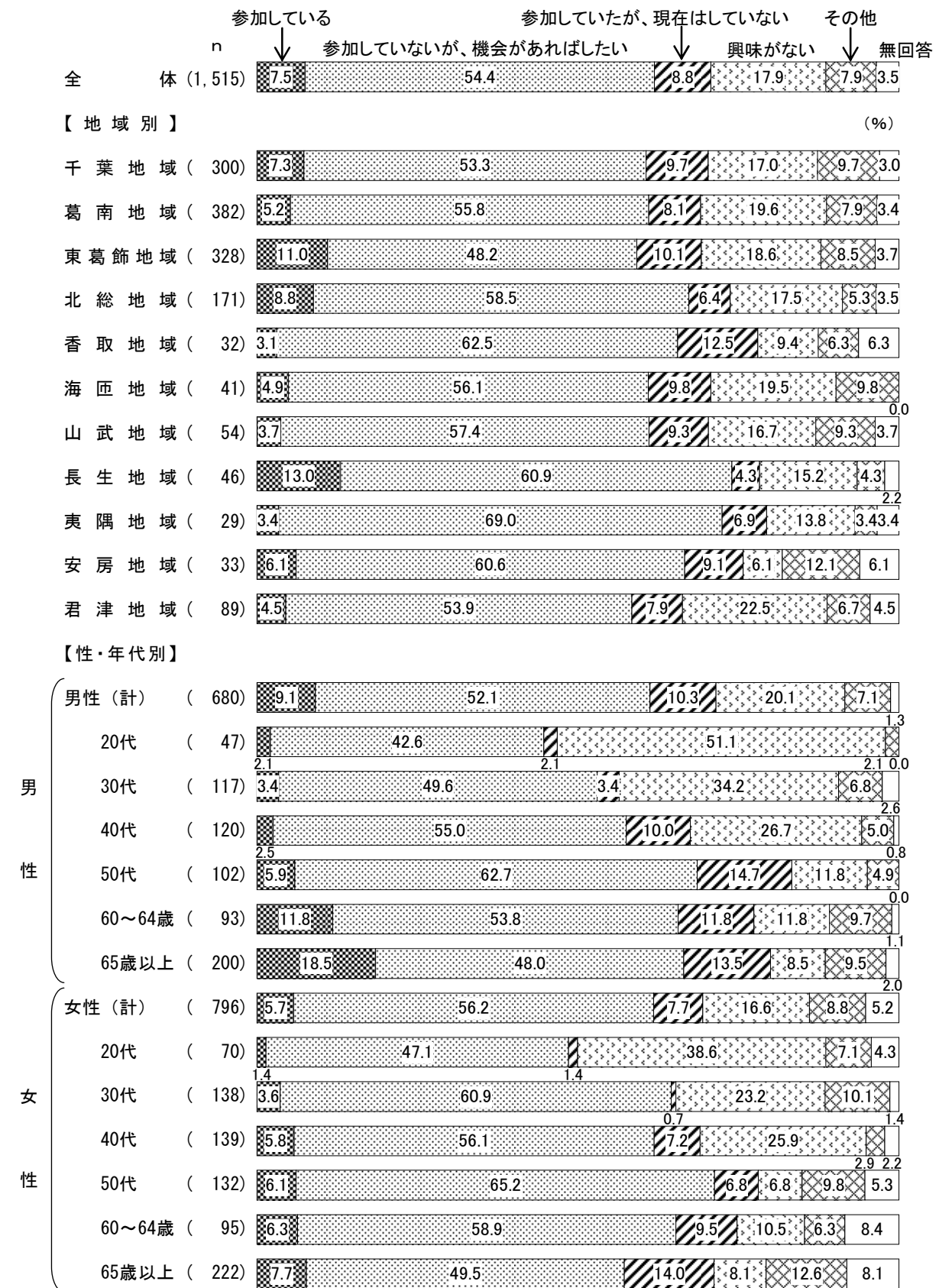
【地域別】

地域別にみると、「参加している」は“長生地域”(13.0%)と“東葛飾地域”(11.0%)がともに1割を超えている。「参加していないが、機会があればしたい」は“夷隅地域”(69.0%)が約7割と多くなっている。(図表19-2)

【性・年代別】

地域別にみると、「参加している」は男性65歳以上(18.5%)が約2割で最も多く、男性60～64歳(11.8%)でも1割を超えている。「参加していないが、機会があればしたい」は男女とも50代(男性62.7%・女性65.2%)が他の年代に比べて割合が最も多くなっている。(図表19-2)

<図表19-2> 自主防犯活動等への参加状況／地域別、性・年代別

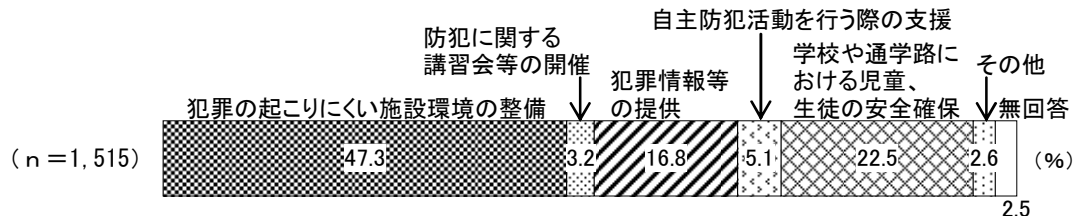


(5) 犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと

◇「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」が約5割

問20 犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは何ですか。（○は1つ）

<図表20-1> 犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと



犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは何か聞いたところ、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」（47.3%）が約5割で最も多くなっており、以下、「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」（22.5%）、「犯罪情報等の提供」（16.8%）などが続く。（図表20-1）

【地域別】

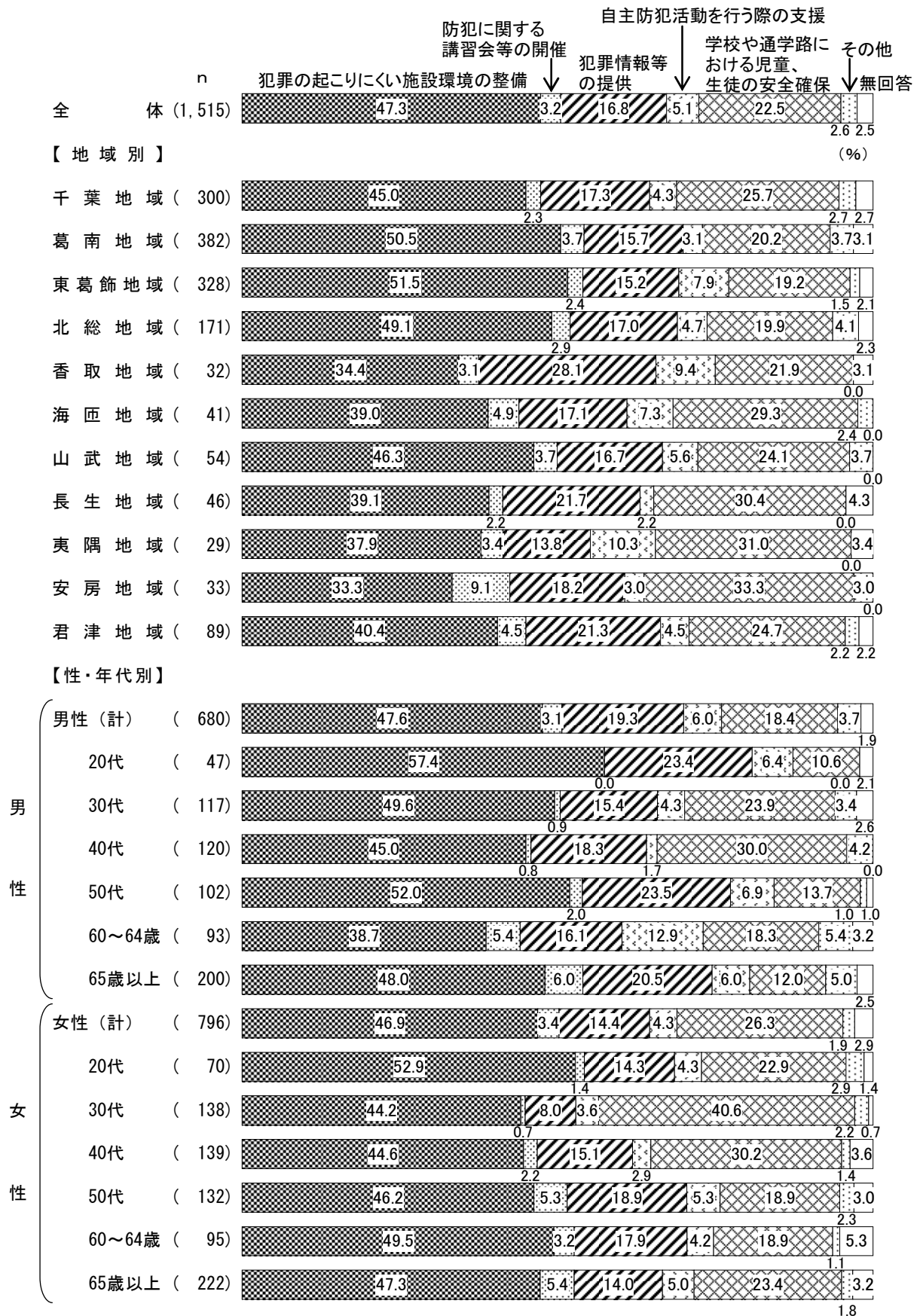
地域別にみると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」は“東葛飾地域”（51.5%）、“葛南地域”（50.5%）、“北総地域”（49.1%）がいずれも5割前後で多くなっている。「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は“安房地域”（33.3%）、“夷隅地域”（31.0%）、“長生地域”（30.4%）がいずれも3割を超えている。「犯罪情報等の提供」は“香取地域”（28.1%）が約3割と多くなっている。

（図表20-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」は男女とも20代（男性57.4%、女性52.9%）がともに他の年代に比べて割合が最も多くなっている。「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は女性30代（40.6%）が4割と最も多くなっている。「犯罪情報等の提供」は男性20代（23.4%）・50代（23.5%）がともに2割台半ばとなっている。（図表20-2）

<図表20-2> 犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと／地域別、性・年代別



このほかに、「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」やここまでの質問（問16～問20）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、207人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」の自由回答（抜粋）

- 防犯灯が必要なのにない所がある。自治体によれば、設置を地域の人で行えば、市が電気料金を負担するとのこと。市や県が防犯灯のある所とない所を把握し、必要な所には設置して欲しい。（女性・30代・君津地域）
- コンビニと提携して何か取り組めたら良い。コンビニの看板に24時間監視カメラを設置する。コンビニと地域のつながり方を強化。デジタル掲示板を設置して、街の犯罪情報等を告知する。（男性・40代・葛南地域）
- 犯罪者を作らないような教育。小さい子ども達が安全、安心して遊べるまちづくり、防犯意識を高め、犯罪者を寄せつけないようなまちづくり。（男性・30代・東葛飾地域）
- 犯罪情報を提供するといっても、下町のような環境でなく、マンションなど隔離された場所などでは、なかなかむずかしいのではないかと思う。（女性・50代・北総地域）
- 古くからの農村地域は家屋敷が榎や竹など大きな木で囲まれており、外側からは空き巣などにねられやすい。昼は高齢者のみになってしまう環境は不安である。（女性・50代・安房地域）
- パトカーや警察官が独りでいる年寄り家庭等、弱者を守ってほしい。まめにパトロールする等、せまい路地まで入ってきてくれるなど日常的に1～2回まわってくれると警告になっていいと思う。小さなことから取りくんでほしい。（女性・50代・香取地域）
- 以前居住していた地区では交番のお巡りさんが定期的に巡回してくれていたのですが、転居して1年半になりますがこの地域ではないみたいです。バイクで住居の前を通るだけでも違うのではないのでしょうか。青パトカーなどもっと多く出来ないのでしょうか。（男性・50代・長生地域）
- 犯罪は街の死角で起っていることから、防犯カメラの設置、街灯の少ない道路に街灯（太陽電池を利用したものなど）の設置をする。（男性・20代・北総地域）
- 現在多発している犯罪の詳細な情報（犯罪の手口、被害をうけている年代等）の公開と対処の方法の提供を県民にわかりやすく、伝達することが必要。（女性・50代・葛南地域）
- 犯罪のないまちとするには、まちの美化に努めることが重要であると聞いたことがあります。ゴミが落ちていない、雑草が生えていないまちは、それだけ目が行き届いている事になり、結果的に、犯罪の減少に寄与することになるのでは、と思います。まずはまちの美化に注力することも一案ではないのでしょうか。（男性・50代・千葉地域）